

「学校と地域・家庭が連携し、それぞれの教育力の総合的な向上を図ることは、子どもの健全育成をすすめるうえで、喫緊の課題となっている。このため、今年度の教育の日テーマとして、『学校と地域・家庭の連携』をとりあげ、都民ひとり一人が教育に対する関心を深める機会を提供する。」



平成17年度「東京都教育の日」

東京都教育委員会は、都民の教育に関する関心を高めるとともに、東京の教育を見つめ直し、子どもの育成について考える契機とする日として、毎年、11月第一土曜日を「東京都教育の日」としています。

今年度は、11月5日が「東京都教育の日」に当たり、この前後の期間に様々な催しが行われました。

教育フォーラム （「東京都教育の日」推進事業）

「学校と地域・家庭の連携を進めるために」

1. 東京都教育委員会教育長あいさつ



開会に当たり、中村正彦教育長は、「子どもをめぐる最近の状況には、憂慮すべきものがあり、多くの大人が協力して解決していくべき喫緊の課題であり、東京都教育委員会としても学校を核とした地域の総合的な教育機能の向上を図る取組を積極的に支援してまいります。今回の『教育フォーラム』を学校と地域・家庭の連携について一層の理解を深め、子どもたちの

教育活動を支援する仕組みづくりについて議論し、考え合う場としていただきたい」と述べました。

2. プログラムの概要

(1) ポスター・コンクール表彰

「東京都教育の日」の普及啓発を目的とした、ポスター・コンクールの表彰式を行い、各部門の最優秀賞及び審査員特別賞の4名が表彰されました。



(2) 基調講演「企業界と教育界の連携で、次代を担う子どもを育てる」 遠藤勝裕 経済同友会「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」委員長 「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会」副会長



遠藤氏の基調講演では、企業が教育に関心を持ち、積極的に交流を進めており、「子どもたちに対しては」職業観の育成・将来について考えるきっかけづくり。「先生に対しては」企業から見て、社会がどう変わってきているのか、それをどう教育に生かしていくか。「親（地域）に対しては」企業や社会の変化を伝え、学歴ではなく、基礎学力が重要なことを伝え、「経営者（教育委員会・校長）に対しては、ステークホルダー（利害関係者）に対して責任ある経営のあり方等を伝えている旨をお話いただきました。

また、阪神淡路大震災時の経験から、大災害時における学校の役割の重要性やマニュアル作り・日ごろの自覚と周知・地域リーダーとの交流等の大切さについてもお話いただきました。

(3) 事例報告「世田谷版地域教育基盤（プラットフォーム）について」

報告者 水戸都紀子（世田谷区教育委員会生涯学習・地域・学校連携担当部長）
望月明夫（世田谷区教育委員会生涯学習・スポーツ課社会教育担当係長社会教育主事）
平山順造（世田谷区立北沢小学校副校長）

東京都教育委員会が実施している「地域教育プラットフォームモデル事業」の一例として世田谷区の取組を紹介しました。➤



小学生の部 最優秀賞 渡邊 樹さん
（府中市立住吉小学校6年）



中学生の部 最優秀賞 下田 有利さん
（台東区立御徒町台東中学校2年）



高校生・一般の部 最優秀賞 青木 恵梨さん
（都立荒川商業高等学校3年）



審査員特別賞 最勝寺啓太さん
（都立石神井養護学校高等部2年）